



## ～若年者の離職対策カリキュラムのご提案～

企業での管理職経験を持つ当協会の登録講師が、過去に退職をした若者をフォローしたところ、ほとんどの「退職事由が人間関係による」もので、「責任は職場そのものの風通しの悪さにある」ことがわかりました。また管理職在職中あと一歩で大事な部下を失うところ、声掛けの大切さを身に染みて味わったこともありました。担当講師が永い人事業務で体験したことと、最近の各層別研修で観た若者の実態等をミックスして実情に迫る内容です。

テーマ	管理監督者向けセミナー 「若者が職場を去る日とは？」
実施時間	3時間 (講師料ご予算 49,500円 別途 消費税込・講師交通費相当)
ねらい	急に「会社を辞めたい」と切り出す若者は単に「やる気がない」だけなのか？ 様々な理由と対応について現状フォローを行いながら問題点を掘り起こし、課題解決への導線を見出す。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退職理由には、建て前と本音があった</li> <li>○対象者への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・論破より聴く</li> <li>・NG言葉</li> <li>・隣の芝はそんなに青くない</li> <li>・前兆サインからの気づきと学び</li> </ul> </li> <li>○離職の背景を探ると思いもかけない素因が隠れていた <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人研修と配属のミスマッチ</li> <li>・新人の指導育成のミスマッチ</li> </ul> </li> <li>○職場風土改革に当たって立ちふさがる壁 <ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期限がきた昭和流</li> <li>・ジェネレーションギャップ</li> <li>・ギスギス職場って (少しの観察力と声掛けで職場は変わる)</li> </ul> </li> </ul>



**担当講師** : 内藤正信氏 【原石研磨塾 代表】

1965年に中部電力(株)に入社。以降、営業、人事、秘書、関連会社の人材開発などを経験。退職後に、在職中の経験を活かすべく研修講師として独立し、現在は、電力会社とその関連会社など全国の一般企業、行政機関などにおいてユニークな構成・展開のワークショップを主体とした指導で、好評を得ている。